



# スポーツツーリズムの取組について

スポーツツーリズム需要拡大のための官民連携協議会  
2019年11月11日

## ◆地域の意識啓発及びコンテンツ開発・受入体制強化に向けた支援

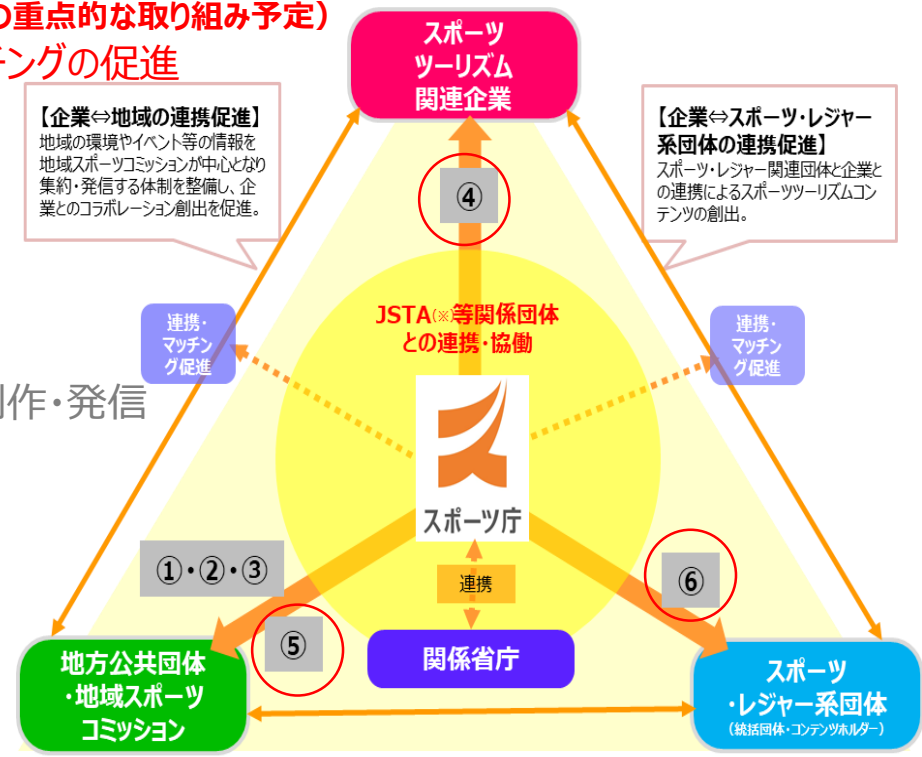
- ①マーケティングデータや優良事例等の地方公共団体・事業者への提供による地域の意識啓発
- ②支援事業の実施による地域の新たな取組の促進
- ③スポーツアクティビティ拠点の国内外への発信による認知度向上

## ◆国・企業・地域・団体等の連携強化 (当年度の重点的な取り組み予定)

- ④スポーツツーリズム応援企業等のネットワーク化・マッチングの促進
- ⑤地域スポーツコミッションの増加と強化
- ⑥スポーツ・レジャー系団体等のツーリズム意識啓発によるコンテンツ創出

## ◆需要拡大のための官民連携プロモーション

- ⑦日本のスポーツツーリズムの魅力を発信する映像の制作・発信
- ⑧省庁間連携による総合的な日本の魅力発信
- ⑨官民が一体となったデジタルプロモーション等の実施
- ⑩参加者自らが「誘う」、「発信する」仕組みづくり



## ① スポーツツーリズムセミナー開催 ④⑤⑥

11月1日(金) イオンモール KYOTO 参加者76名 セミナー後、相談会を実施  
 今後の予定：福岡（12月）、名古屋（1月）、札幌（2月）、東京（3月・武道ツーリズムセミナー）

## ② スポーツツーリズムフェア開催 ④⑨

11月2日(土) イオンモールKYOTO イベント「宇佐美里香さんトークショー & 空手演武」  
 ブースにて官民連携協議会企業・団体等が取り組むスポーツツーリズムのPR



## ③ スポーツコミッションへの支援 ⑤

- 2019年度5団体の支援（4年間で延べ31団体の取組を支援）
- 2018年99団体 → 2019年118団体（10月調査）

## ④ デジタルプロモーション ⑨

ラグビーワールドカップ期間中 9月16日(祝)～22日(日)  
 京王電鉄（京王線・井の頭線内）「BUDO TOURISM」動画30秒ver. 配信  
 「スノースポーツ」に特化した新たなスポーツツーリズム動画を作成



## ⑤ 武道ツーリズムの推進

- 武道ツーリズム研究会開催（9月・11月・2月）→ 「武道ツーリズム推進方針」の策定
- 武道ツーリズム推進機構の設立検討  
 スポーツ及び観光に関わる多くの関係者が一体となって、武道大会・合宿の誘致・開催、武道関係資源を活かした旅行商品化など、武道ツーリズムに取り組む組織の設立を検討中
- 関係省庁等との連携  
 観光庁・日本政府観光局との連携強化により、JNTOのHPへの動画掲載とともにランディングページの構築
- 武道ツーリズムに関わる調査  
 「武道ツーリズムに関するマーケティング調査」を実施
- 武道コンテンツ視察・取組課題の抽出  
 山形県村山市・福島県会津若松市・石川県金沢市・熊本県大津町・宮崎県・沖縄県



### ■ BICYCLE CITY EXPO 2019 ～自転車まちづくり博～ ④⑨

5月23日(木)～5月24日(金) 東京ドームプリズムホール 参加者3,546名



### ■ ツーリズムEXPO スポーツ庁ブース出展 ④⑨

10月24日(木)～27日(日) インテックス大阪 来場者数150,000人 スポーツツーリズムをPR

### ■ ツーリズムEXPO 4省庁セミナー開催 ④⑤⑥

「自然」×「文化」×「スポーツ」の融合による観光先進国への挑戦！～地域への誘客にむけた仕組みづくりを考える～  
10月24日(木) インテックス大阪 参加者93名



### ■ 第4回「スポーツ文化ツーリズムシンポジウム」開催予定

スポーツ庁、文化庁、観光庁の連携施策として、スポーツ文化ツーリズムの取組を表彰（アワード）するとともに、その意義を国内外へ発信するためのシンポジウムを初めて地方で開催  
令和2年1月15日(水) 金沢市文化ホール

### ■ 第2期まち・ひと・しごと総合戦略「スポーツ・健康まちづくり」

- スポーツの力により、各地域が持つ多様な社会課題を解決し、地域経済活性化などに貢献するまち
- 様々なスポーツ関連領域で活躍する優秀な人材を、継続的に育成・輩出するまち

### ■ 概算要求

インバウンドに誘客のためのモデル事業等を行うための「スポーツ資源を活用したインバウンド拡大の環境整備」、国際スポーツ大会のレガシーを活用するための「スポーツによるまちづくり・地域活性化活動支援事業」を新規、拡充して要求



本協議会での議論や取組状況等を踏まえ、2019年度末に  
「スポーツツーリズム需要拡大のためのアクションプログラム2020」を策定

# スポーツ庁の今後の取組について

赤字は令和2年度から新規に行う事業

青字は令和元年度に行う事業で翌年度以降継続予定の事業

令和2年度予算要求額（前年度予算額）

## ➤ 「スポーツ資源」を活用したインバウンド拡大の環境整備 4.7億円（新 規）

- ①インバウンドニーズを踏まえた観光コンテンツの造成・磨き上げ、受入環境の整備、武道ツーリズムの調査・研究
- ②地域資源のネットワークを形成し、資源価値の最大化を図るための体制の構築・マッチング手法の開発
- ③関係機関・団体の海外拠点や情報プラットフォームを活用した効果的な情報発信
- ④最先端技術を活用した疑似体験コンテンツの整備

## ➤ スポーツによるまちづくり・地域活性化活動支援事業 1.8億円（0.3億円）

- ①地域スポーツコミッションが行う、「長期継続的」・「通期・通年型」の取組に係るコンテンツの磨き上げ、受入体制整備、効果的なプロモーション等の活動を支援
- ②東京2020オリパラ大会等を契機に各地に設立されている官民連携横断的組織を、常設で通年型の取組を行う地域スポーツコミッションへ発展させるための体制整備を支援

## ➤ スポーツツーリズム・ムーブメント創出事業 0.3億円（0.3億円）

- ①「スポーツツーリズム需要拡大のための官民連携協議会」「武道ツーリズム研究会」を開催
- ②スポーツツーリズムに取り組む意義の発信やマッチング機会創出のためのスポーツツーリズムセミナーを全国4か所で開催するとともに、武道ツーリズム研究会での議論を経て取りまとめた推進方針等を発信するための武道ツーリズムセミナーを東京で開催
- ③引き続きデジタルプロモーションを実施、併せてラグビーW杯等と関連したプロモーションを展開
- ④動画視聴から予約まで繋がる動線を展開するため、既存コンテンツの情報を集約するWEBサイトを試験的に構築
- ⑤文化庁、観光庁と連携し、「スポーツ文化ツーリズム」の取組を発掘するためのアワードを実施するとともに、取組の意義等を広く発信するためのシンポジウムを地方で開催（2019年度は石川県金沢市で開催）

各地域が誇る地域資源とスポーツを掛け合わせたコンテンツの造成や磨き上げ、環境整備等を行うとともに、先進的に武道ツーリズムを推進する団体の取組をモデル的に調査・研究・分析し、横展開を図る。

また、人・物・施設等の資源情報データベースを構築し、マッチング手法を開発するとともに、新たなプロモーション等を実施する。

## 受入体制

### コンテンツ造成・磨き上げ、環境整備

アウトドアスポーツや武道を活用した観光コンテンツを全国で創出し、インバウンドの地方誘客・消費拡大を促進するとともに、日本のプレゼンスを向上



日本の自然資源を活用したアウトドアスポーツツーリズム

写真提供：長野県観光機構

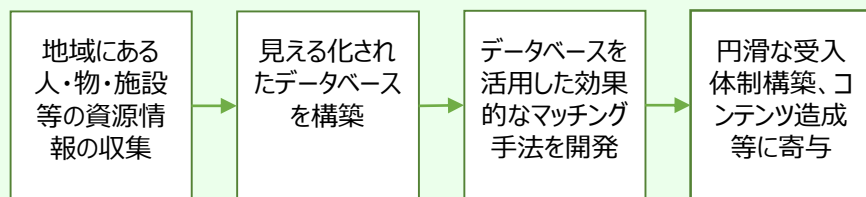


日本発祥・特有の武道を活かした武道ツーリズム

写真提供：沖縄県

### 人・物・施設ネットワーク形成

地域資源のネットワークを形成し、価値の最大化を図ることで、インバウンドの満足度を向上させる体制を構築



## プロモーション

### 更なるインバウンド誘客プロモーション

- ① 関係機関・団体の海外拠点や情報プラットフォームを活用した効果的な情報発信等を行うとともに、インバウンド拡大に向けたブランディングを推進
- ② 最先端技術（AR・VR等）を活用した疑似体験コンテンツを整備し、地方部への誘客を促進



スポーツと地域資源の融合により、スポーツの付加価値を高める

新たなコンテンツの造成等により観光客の満足度を向上

スポーツのチカラを最大化  
→ 好循環の創出

観光客の滞在時間増、リピーター増に寄与

地域活性化・スポーツ振興を促進  
スポーツ投資の増加

# スポーツによるまちづくり・地域活性化活動支援事業

(前年度予算額 : 30,146千円)  
令和2年度概算要求額 : 175,000千円

地方公共団体、スポーツ団体、民間企業（観光産業、スポーツ産業）等が一体となり、地域活性化に取り組む組織である「地域スポーツコミッション」等が行う、「**長期継続的な人的交流を図るスポーツ合宿・キャンプ誘致**」「**通期・通年型のスポーツアクティビティ創出**」等の活動に対し引き続き支援を行い、**スポーツによる持続的なまちづくり・地域活性化**の促進を図る。

令和2年度は、東京2020オリパラ大会等を契機に各地に設立されている官民連携横断的組織の取組を、一過性のものとせず今後のレガシーとして残していくため、常設で通年型の取組を行う地域スポーツコミッションへ発展させるための支援を新たに行う。

## 「東京2020オリパラ大会」

ホストタウン登録された地方公共団体や「東京2020参画プログラム」に登録された取組等を行う組織を地域スポーツコミッションに発展させるための体制整備を支援。

ホストタウン等

関係者の合意形成、潜在コンテンツ掘り起こし・ニーズ把握調査等の取組を支援。

支援



スポーツ庁

支援

支援

実行委員会等

関係者の合意形成、潜在コンテンツ掘り起こし・ニーズ把握調査等の取組を支援。

## 「WMG2021関西大会」

事前合宿や「TSUNAGUプログラム」に登録された取組等を行う組織を地域スポーツコミッションに発展させるための体制整備を支援。

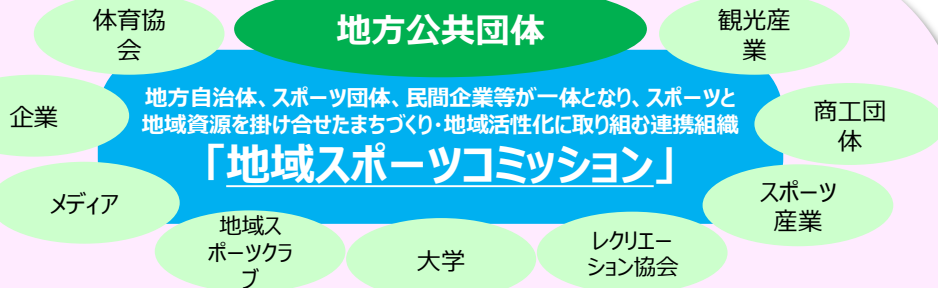
## 長期継続的な人的交流を図る「スポーツ合宿・キャンプの誘致」

地域の気候・環境・施設や、メガスポーツイベント等に向け構築された連携体制等を活用した取組を支援。



写真提供：佐賀県

写真提供：網走市



第2期スポーツ基本計画で掲げる、地域スポーツコミッションの設置数目標  
56団体 (2017年1月) → 99団体 (2018年10月) → 170団体 (2021年度末目標)

## 恒常的なスポーツ誘客が可能な「通期・通年型スポーツアクティビティの創出」

自然環境を活かしたアウトドアスポーツや日本発祥の伝統文化である武道を活用した取組を支援。



写真提供：宮崎県

写真提供：みなかみ町

## 【地域への社会的効果】

- スポーツのまちとしてのアウトターブランディング、
- ローカルアイデンティティ・地域一体感の醸成
- 地域スポーツ人口・関心層の拡大
- 季節・年間を通じての誘客による、従事者の雇用安定

## スポーツによる持続的なまちづくり・地域活性化へ

創出された優良事例を、全国へ横展開

## 【地域への経済効果】

- 合宿参加者・スポーツツーリストの滞在に係る消費（宿泊・飲食・観光・物販など）
- スポーツアクティビティの参加料収入